

前泊港の安全環境について／新垣雅士

(議会だよりでの件は、前泊港の安全対策と用地拡張に向けた事業化
推進について)

『村長の施政方針』の交通環境の整備について {P7-第 4- (1)} というところで、④『前泊港の安全対策と用地拡張に向けた事業化推進について』と施策の中にありますけれども、前泊港の話なので、どのような構想をお持ちなのかお伺いします。

■議長（金城信光） 答弁、真栄田孝村長。

■真栄田孝村長 交通環境整備については、以前よりフェリー車両待機場において乗降車両の行き交い、歩道への建設資材の仮置きなど、狭小^{きょうしょう}で危険を伴っていることで、安全対策と拡張を県に要望しております。令和6年度に伊平屋港の埋め立て計画を策定しています。埋め立て地の利用方法として「友愛と健康の広場」の機能を高台からおろす計画であります。本当に必要な施設であるのか、商業用地など、もっと他の別の用地にできないかを検討したうえで、埋め立て地の整備内容を見直したいと考えております。

■議長（金城信光） 新垣議員。

■6番 新垣雅士議員 埋め立てのお話が若干出ましたけれども、埋め立てをするとすれば、フェリー着き場がある保育所の下のことですか。

この話もかなり前から出ていた話で、「今は時代が違うだろう」と言わ

ればそれまでかもしれませんが、村長がおっしゃったようにいろいろ厳しい、危険な部分があるので、あまり自然破壊を進んでやろうとは思わないですけれども、その部分をぜひ埋め立てをして安全性も図りながら、その用地に水産であれば新たな養殖、今は魚種が中心ですけど海藻とかいろいろできる部分もあるし、またいろんな他のところからの投資、施設の設備等あるかと思います。そういう投資も呼び込んで、島の経済の発展にもつなげていければと思いますので、ぜひ前向きな検討をお願いしたいと思います。これで私の質問を終わります。ありがとうございました。